

会議録（要点筆記）

会 議 名	令和3年度第2回米原市総合教育会議
開 催 日 時	令和3年7月14日（水） 午後1時30分から午後3時
開 催 場 所	本庁舎4AB会議室
出席者および 欠席者	<p>【出席者】 （構成員） 平尾道雄市長、馬淵均教育長、中川清和教育長職務代理者、法戸繁利委員、膽吹照子委員、本庄通子委員、井口英知委員（計7名）</p> <p>（事務局） 鹿取輝之政策推進部長、清水正樹政策推進課長、松村英香政策推進課課長補佐、上村浩教育部長、西村善成教育部次長、山口昌章学校教育課長、藤田明子学校給食課長、梶田悟生涯学習課長、花部正人スポーツ推進課長、立木ひろみくらし支援部長、口分田剛くらし支援部こども未来局長、小寺真司保育幼稚園課長、石河輝輝男子育て支援課長、奥村和芳教育総務課長補佐、ほか担当職員2人、民間事業者（教育振興計画策定支援）1人（計17人）</p>
議 題	（1） 米原市教育大綱について （第3章 教育政策の基本的な考え方について）
結 論	○教育大綱は概ね素案どおりとするが、多くの人に理解されるよう全体として文章を平易な表現にするとともに、家庭・地域・学校の現状を踏まえて「家庭の教育力」の重要性が伝わるよう表現を改める。
審 議 経 過 市長	<p>1 開会 （事務局から開会あいさつ）</p> <p>2 市長あいさつ 日々、教育行政の推進に御尽力いただき感謝している。 全国的に被害をもたらした梅雨前線は、やや弱まってきて、梅雨明けと同時に本格的な夏を迎えようとしている。また、間もなく夏休みを迎えようとしているが、オリンピックやコロナが子どもたちに大きな影響を与えている。昨年を引き続きコロナ禍での夏休みとなり、感染症対策に伴い子どもたちにも大きな制限がかかっている。 そういったことも含めて、大人、地域の支えが必要だと思う。市として、現状の最優先はワクチン接種で、鋭意努力をしている。取り分け、接種対象者は12歳以上として変更された。ぜひ、子どもたちと一緒に平常を取り戻せるように、ワクチン接種を進めたい。 今回は、米原市の教育の基本的な考え方である教育大綱について決定していただくことになる。前回、大綱についてはおおむね了承いただいたが、並行して進</p>

	<p>めていただいている教育振興基本計画については審議会を経て変更箇所もあると聞いているので、併せて検討をお願いしたい。</p> <p>重ねるが、教育大綱は、市の教育施策の根幹となるので、忌憚のない意見を頂戴したい。</p> <p>3 協議事項</p> <p>協議事項 1 項目 米原市教育大綱について、まずは事務局から説明する。</p> <p>(事務局から説明)</p> <p>委員の皆さんから御意見いかがか。</p> <p>私の意見としては、基本目標 2 「学校、家庭、地域がつながり、協働して地域全体の教育力を高めます」という部分で、教育のステージ、現場のことを表現されていて、後に続く文章は「家庭教育は、全ての教育の基盤という認識を持ち、家庭の教育力を高め家族を大切に作る心を育てます。」となっており、いきなり家庭のことが入っている。家庭教育の重要性は分かるが、その後、地域の話になると、「地域の特色ある素材を活用し、地域の人々と学校が一体となって、様々な学びの体験や実践を通して、子どもたちの人に感謝する心、ふるさとを愛する心を育みます」という表現になっていて、地域に関する具体論につながるような表現になっているが、私の受け止め方としては、「家庭教育として何にこだわり、何を大事にするのか」という大事な方法論につながる言葉が抜けていると感じた。このままの表現で良いのか、このことも意見の一つとして、議論のきっかけの一助になればと思う。</p> <p>おそらく、後半の教育振興基本計画につながる話であるが、文中に「家庭教育は、全ての教育の基盤という認識を持ち」とあり、このことの意味はよくわかるが、その後の「家庭の教育力を高め家族を大切に作る心を育てます」という部分で、「家庭の教育力を高める」とするならば、「どんな問題設定で、解決に向けてどんな方法で、アプローチするのか」が重要だと思う。というのも、私たちの幼少期や子育てをしてきた時代と現代とでは家庭の実情が随分変わっている。これは今の保護者に対する批判などではなく、家庭、学校、地域と並べたときに、今は家庭にこそテコ入れが必要ではないかと思う。</p> <p>基本目標のなかで、学校、地域と並べて家庭を加えていることについて、委員の皆さんから御意見いかがか。</p> <p>大綱の後に教育振興基本計画の内容を議論していくのだと思うが、今の市長の発言を受けて、私の考えを申し上げる。</p>
市長	
事務局	
市長	
委員	

	<p>大綱があって、計画があって、予算が生まれ、実際に動くという流れになると思う。そのため、どうしても大綱は抽象的、理念的にならざるを得ないが、だからこそ、これは全ての基本で大枠を示すものとして、読む人もたくさんいるので、大いに議論すべきだと思う。その意味で、家庭教育の具体的なことを言うのではなく、言葉の選択や主語述語など文章として分かりやすくすべきだと思う。シンプルな構図で、誰がどうするかをはっきりとシンプルに書かれている方が良いと思う。</p>
市長	<p>今の意見を受けていかがか。</p> <p>大綱の中で書かれている文言等についても構わないので、いかがか。</p>
委員	<p>今は各家庭での教育が難しいと言われており、個々で生活するようになり、つながりも薄くなってきた。</p> <p>そのような現状で、この表現は「各家庭での教育をきちんとしなければいけない」というニュアンスが強いと感じた。</p> <p>私としては、学校や地域でどうやって家庭の教育を支えていくかということが大事だと考えていたが、この目標は「学校、家庭、地域」と並べて書かれているので、家庭での教育が難しい今、さらに家庭への大きな圧力がかかる表現に読み取れるので気になった。</p> <p>大綱や計画のなかで、言葉はとても大切だと思うし抽象的にもなるが、今後どうやって具体化して実践していくかが大事であるし、一番はどの人にもわかりやすく、すべての市民にとって「なるほど」と感じてもらえるようにする必要がある。家庭教育が大事だということであれば、それを支える学校や地域の連携を大事にするという意味合いを強くするほうが大事だと思う。</p>
委員	<p>私が補導員として学校訪問などの活動をしているなかで気になったのは、園でも地域の協力はたくさんあり、それは小学校も中学校も同じである。</p> <p>しかし、家庭での学校に対する協力体制が積極的に得られず、学校運営をもう少し考えないといけないと感じた。</p> <p>今は退職した人たちが協力してくださっているが、数年もすれば退職年齢が上がって協力してもらえる人が減ってくる。時間的余裕のある人が少なくなる状況で、保護者がもう少し積極的に学校に関われないものか。</p> <p>児童クラブがなかった時代の者からすれば、今こうした施設があることはありがたいと感じるが、元々こうした施設がある時代に生まれた者からすると「利用するのにお金がかかるのか」という考えが出てしまう。</p> <p>徐々にでも意識を変えていかないと、全て教育は行政がやってくれると思われ</p>

市長	<p>てしまうのではないかと。少しずつでも家庭が学校や地域へ関わる機会を創っていないと、家庭の教育力はますます弱まってしまっているのではないかと。</p> <p>今の意見を受けていかがか。事務局側からでも補足しておきたいことなど、いかがか。</p>
事務局	<p>今の意見を踏まえて、家庭の教育力の部分は表現を検討したい。また、全体的にわかりやすく、平易な表現に改めたい。</p>
市長	<p>基本目標2のなかで「心」という表現が出てくる。大綱の中では「人に感謝する心」「ふるさとを愛する心」などが出てきて、そうした「心をはぐくむ」と記した後で最後の締めは「人を育てる」となっていることに違和感がある。大きな話をしている中なので具体性をもって表現しにくい、それが大綱の難しさでもあるが気になった。</p> <p>事務局でももう少し修正案を検討するというところで、時間の都合もあるため、次の報告事項「米原市教育振興基本計画施策体系（案）」に進む。</p> <p>では、事務局から基本目標ごとに説明する。</p>
事務局	<p>注意として、資料1の第2章部分は、先日の審議会で様々な議論をいただき、現在修正を加えている最中である。</p> <p>（事務局より、基本目標1について説明）</p>
市長	<p>少しずつ具体的な話が出てくるので、皆さんから気づいた点などいかがか。</p> <p>質問であるが、2ページの（4）で「健康教育の推進」とあり、各学校園で子どもの健康診断を定期的に行っているなかで、結果を家庭へ送り各学校園の職員間でもそれを共有していると思うが、実際はどういう状況か。単に情報を返すだけでなく、家庭への教育などは何かなされているのか。</p>
事務局	<p>学校での検診、体重測定等についてきちんとデータをためて、保護者へ返却している。例えば、各学校での虫歯の状況などを把握して保護者へ通知し、対策として子どもへの教育を含めてデータを生かしている。市の養護教諭部会でデータ分析し、資料を作成して、子どもへの教育、家庭への周知といった取組を進めている状況である。</p>
市長	<p>レアケースで見えていない部分になると思うが、虐待やネグレクトなどの場合、虫歯や体重、身長など一定のデータに照らし合わせればある程度状況が分か</p>

	<p>ると聞いている。そうした意味で、学校や公的機関が気づく機会が増えているのではないか。そういう意味合いが「健康教育の推進」の具其他的な取組内容「園児・児童・生徒の健康診断から疾病などの早期発見・早期治療に努めるとともに、健康維持のための指導の充実を図る。」に含まれるのか。そこまでのことは言っていないのか。健康を通して見える家庭との関わり、教育をどう進めていくか、そのことが分かる計画にしてほしい。</p>
事務局	<p>健康教育の推進について今、審議会で提案しているのは、歯の健康など子どもの健康増進のための指導として保健だよりを通じて保護者の子どもの健康への関心を高めることや、子どもと保護者の両者の健康への意識の向上について提案している状況である。</p>
教育長	<p>指摘の内容について、健康診断を通して全体的な健康教育を進めているが、個々の子どもの状況について課題がある場合は例えば、4ページ（1）「子育て支援と家庭の教育力の向上」、5ページ（3）「青少年の健全育成」の中の「ヤングケアラーの把握支援」、7ページ「児童虐待に対する支援の充実」のなかで、子どもの貧困対策などを含めており、こういった部分でできる対策をとることとしている。</p>
市長	<p>この分野でほかに御意見がなければ、基本目標2に移る。事務局から説明する。</p>
事務局	<p>（事務局より説明）</p>
市長	<p>お気づきの点などいかがか。</p> <p>私の方からまとまりのない意見になるが、基本目標の書き方で、「学校と地域と家庭がつながり」とある。まさにこの通りであるが、行政で言えば、「地域力が発揮されているのか」「家庭や親の責任ではない」ということが問われているなかで行政として非常に関心を持っている部分である。</p> <p>ヤングケアラーの実態もあるといわれるが、「実態として見えているのか」と言われれば、今までは見えていなかった部分であり、この先誰が見ていくのかが課題である。ここに記載のとおり、連携マネージャーの配置等で手立てを打とうとしているが、やはり私は従来のとおり地域で隣の人同士が気づき合えることが本来の姿かと思う。ただ、実際は隣人同士で関わることを良しとしない、むしろ迷惑ではないかといった配慮や付度が働いてしまう時代の流れがある。</p> <p>しかし最終的には、基本目標や施策を子どものためにどう役立てるかを考え</p>

	<p>て、予算も編成していくことになる。</p> <p>そのためにも、基本目標のこの分野でもっと突っ込んだ意見があると思うので皆さんから御意見をいただきたい。</p> <p>これらの資料は教育基本計画審議会からの意見を反映して作成されているので、場合によっては事務局から審議会での意見や議論の内容を併せて説明してほしい。よりリアリティーのある内容として把握したい。</p> <p>基本目標2について、先ほどの「家庭の教育力」の課題では、家庭だけの問題ではなく、地域のあらゆる関係団体等が子どもを見守っていくことが重要とする一方で、保護者の関心が薄い状況や、学校・地域に頼りすぎている場合もあるので、こういった課題に親に気づいてもらうことも必要であり、この分野でもあらゆる枝分かれの施策を考えていかなければならないし、各校でもこの視点を踏まえた取組をしていく必要があると議論されている。</p> <p>策定委員会は、次回開催も予定しているので、今日の意見を踏まえた提案をしながら進めていきたい。</p>
市長	<p>では、全体としての関連もあるので、次の教育基本目標3について、事務局から説明をする。</p>
事務局	<p>(事務局より説明)</p>
市長	<p>質問等いかがか。</p>
委員	<p>議事の内容ではないが、会議の中身について確認である。今、説明されている資料2は、事前に送付された会議次第では報告事項として挙げられており、事前に送付もされていない。あくまでも報告事項として認識しており、意見を求められても、今は考えが思いつかない状況である。</p>
事務局	<p>資料2は本日初めて配布したもので、あくまでも報告事項としており、委員の発言のとおりである。基本目標の下位にある施策が今後、資料のとおり変わっていくという意味で市の教育行政の方向性を基本計画の施策体系(資料1の最終頁)で示しているの、意見交換というかたちで委員の皆さんから御意見をいただきたい。</p>
委員	<p>資料1の51ページをより具体的にしたものが資料2「第2期計画と第3期計画素案の施策の方向性の対比」で、資料2は現在、審議会でも検討中のものだが、本会議でも意見交換をするという解釈で良いか。</p>

事務局	<p>今日は、資料1「基本計画第1章～第3章の素案」についての協議はないということか。</p> <p>資料2の解釈についてはその通りである。</p> <p>資料1に関する意見については一旦、資料2の報告を終えてから伺いたい。では、基本目標4へ進める。事務局から説明する。</p>
事務局	<p>(事務局より説明)</p>
市長	<p>御意見いかがか。</p> <p>問題提起になるか分からないが、私はこの1～2年はコロナの影響でグラウンドゴルフなど高齢者が参加する大会へ挨拶に行くことがなくなった。最近、久しぶりに見に行くと参加者がかなり少なくなっており、高齢者ではスポーツをやっている人が固定化して、新しく始める人がどういう状況なのかと危惧している。</p> <p>同時に高齢者の関連では老人クラブもほとんどなくなった。教育、生涯スポーツの分野についても、行政の立場からアプローチしないといけないと考えている。教育の分野ではどういう思いがあるか。</p>
委員	<p>生涯学習分野では、前は「生涯学習機会の充実」にとどまった表現であったが、今回は「生涯学び続けられる機会の充実」となり、学びあいステーションでの講座やルッチまちづくり大学などそれぞれの学びの場を具体的な場面で明記されているので良いと思う。</p> <p>人権分野でもLGBTや外国籍の人といった多様性についても関心が高まっているなかで、いろいろな立場の人への理解について挙げられているのが良い。</p> <p>また、図書館の利用が少なくなってきたなか、市でも読書の日を設定されているので読書を通し、生涯学び続けることの大切さが書かれていて良かった。</p> <p>市長の意見に関連した内容で言うと伊吹地域では、グラウンドゴルフはほぼ毎日活動されていて、老人会イコールグラウンドゴルフくらい、よく活動されている。こうした中で、高齢者の元気を私たちがもらっていると感じる。</p> <p>コロナ禍だからこそ、つながりを求めている人がたくさんいる。だから、つながりを残す機会は感染対策をしながら残していかないといけないと思う。そうできなければ、みんなが引きこもってしまうので、時間を短くしたり人数を減らしたりしながらでも残していきたいと思う。</p> <p>子どもたちにとっても、子ども会がなくなってきているなか、今年は地藏盆の前にまちづくり委員会が花火大会をして子どもたちを喜ばせようと計画している。今まではそういったことが意欲的に出てこなかったが、マイナスをプラスに</p>

	<p>変える工夫や意欲がコロナの影響を受けながらも出てきている。こういった意欲やつながりをこの計画の中にも入れ込み、「こころを育てる」「つながりの大切さ」をみんなに分かりやすい形で示してほしい。</p> <p>施策の方向の部分で、「なぜ、その施策が必要なのか」という部分をしっかり入れていただきたい。</p>
市長	<p>では、時間の都合もあるので、次に基本目標5について事務局から説明する。</p>
事務局	<p>(事務局から説明)</p>
市長	<p>以上で、全体の説明を終えたが、皆さんから全体を通じての御意見などいかがか。</p>
委員	<p>先程の定年延長の関係で、地域の在り方が変わってくるのではないかという話題で、地域でも比較的元気な人が引き続き仕事に励むという状況で、学校・家庭・地域の連携について、地域の力も変わってくるという観点で考えなければならない。生涯学習の観点でも、あちこち元気に動ける人は良いが、今後はさらに検討が必要になる。今、大綱や振興計画に反映できなくても、今後の更なる社会変化に合わせて施策も変えていかなければならないと感じた。</p>
委員	<p>コロナの影響で、ビジネスでは様々な変革が起きている。今までは会わないと仕事ができなかったが、今は違う。会えないからこそ、文章の表現力が重要になってくる。慣れた相手なら、なおさら要件をいかに短く伝えることが大事。どうやってわかりやすく伝えるかが今まで以上に必要になると思う。</p> <p>対面での人間関係を築くことも重要であるものの、会う機会はおそらく今後も減っていく。コロナによる変化として、人との関わり合いが大きく変わったのと併せて、メールなどでの表現力の重要性も大きくなった。</p> <p>また、生涯スポーツについて、元々は老人クラブや青年会で行っていたものが、ゲートボールでいうと老人クラブでの取組が盛んになってきた。</p> <p>ただ、これからの団塊の世代は違うスポーツもされるだろうと思う。団体、チームで行うスポーツに取り組むのが難しくなってきた状況であるので、これは行政の力の見せ所だと思う。</p> <p>これまでは各個人がやりたい人を集めて団体を作り、川掃除をする人がいなかったときでも「それなら、私たちがやろうか」と自主的な動きが一般的で、既存の団体に人が集まっていく流れであったが、これからは行政が新たにその場所を創っていくということを考えても良いのではないか。</p>

委員	<p>教育大綱、基本計画を新たに策定するにあたり、コロナの真只中で世界中の誰もが先を読めない状況にあるなか、5年後のことを見据えることはすごく難しい。</p> <p>だからこそ、より柔軟性をもって、社会情勢に合わせて、年度ごとに単年度の施策は柔軟に変えていくべきではないか。</p> <p>予算を伴う施策については、計画はこうだったが社会の変化に合わせてこう変えよう！と仕組みを変革していかないといけない。計画はあくまでも目安として、まち自体が全く逆の発想でないと動かない事態にもなっているから、より柔軟性を持って対応いただきたいと思う。</p>
委員	<p>コロナであるがゆえに、若い人を含め、他者への関心が低くなっている。ソーシャルディスタンスで距離を置かないといけないといった中で時代が変わってきた。</p> <p>その中で、共感が大事で、子どもに対する大人の対応でも、おもしろいものを見つけた時の言葉かけが希薄になったりしていると思う。だから、寂しさを満たすために SNS で知り合いを作ったりすることに注目が集まるなどの現象が現れているのではないか。そういった状況での子どもたちへの支援がこれから求められると思う。</p>
委員	<p>通学路の安全確保について、下校時の子どもの一人歩きが気になる。学童に入る子、習い事などにより一人で帰らざるを得ない子が増えている中、安全性を確保できるようにしたい。</p> <p>また、家庭の教育力を高めることや向上させることについて「一体何を高めるのか」ということ。基本的には生活習慣として朝ごはん、睡眠など様々あると思うが、ほかにも挨拶や家庭でのルール、約束事などあると思う。アンケートでは、優しさをもった子に育てたいという項目が前回と同様に今回も高くなっていた。これまでも「こども園での子ども同士の関係のなかで、親としては相手を気遣える集団に送り出せると安心」という意見があったので、そのためにどうしたらいいかを考えていただきたい。</p>
市長	<p>様々な意見をいただいたので、事務局から今後の流れについて説明する。</p>
事務局	<p>予定では、この教育大綱と教育振興基本計画は8月下旬を目途にパブリックコメントを実施し、庁内、議会等との議論を行い、12月議会で議決をいただきたいと考えている。ただし、大綱についても、本日意見をいただいているので、早急に修正して、みなさんに確認いただく。</p>

市長 事務局	<p>以上で、議事を終了する。</p> <p>これで、本日の総合教育会議を閉会する。</p>
会議の公開・非公開の別	<p><input checked="" type="checkbox"/>公開 傍聴者：なし</p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>一部公開または非公開とした理由 ()</p>
会議録の開示・非開示の別	<p><input checked="" type="checkbox"/>開示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示（根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/>非開示（根拠法令等：)</p>
全部記録の有無	<p>会議の全部記録 <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</p> <p>録音テープ記録 <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</p>
担 当 課	政策推進部政策推進課（内線4232）